

安全対策連絡協議会（安全セミナー）の開催

4月15日（木）、日本人会役員会の席上にて、安全対策連絡協議会（安全セミナー）を開催しましたので、その際の概要をお知らせします。

なお、このセミナーは、民間団体と当館との間で相互の情報交換、意見交換を深めながら、皆さまがより安心して滞在できるような環境作りを図るため、定期的を開催しているものです。

1 主な議題

(1) オークランドで安全に暮らすため（安全の手引き）の改訂

https://www.auckland.nz.emb-japan.go.jp/itpr_ja/anzen_aucklandanzen.html

(2) 安全・生活に関する情報（四半期毎の安全情報の提供）

https://www.auckland.nz.emb-japan.go.jp/itpr_ja/anzenjoho20141105.html

(3) ゴルゴ13の中堅・中小企業向け海外安全対策マニュアルの増補版の発行

https://www.anzen.mofa.go.jp/anzen_info/golgo13xgaimusho.html

(4) 在留届と「たびレジ」について

<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/>

2 当館からの説明

(1) 「オークランドで安全に暮らすため（安全の手引き）」の改訂

・当館のHP上で公開している「オークランドで安全に暮らすため（安全の手引き）」を本年3月に改訂した。

・改訂内容としては、情報を最新化すると共に、特に、昨今のコロナ渦の状況により、オンラインショッピングに係る詐欺が増えていることを追記したので、注意して欲しい。

(2) 安全・生活に関する情報（四半期毎の安全情報の提供）

・総領事館では、四半期毎に事件・事故等の安全に係る情報を取り纏めてHP上で提供を行っているため、改めてお知らせする。

・NZ警察からのプレスリリースや当地紙の報道を取り纏めているものであるが、これをご覧頂くと、日々、様々が事件・事故が起こっているのがお分かり頂けると思う。

・特に、每期共に、交通事故は特に件数が多く、銃器による犯罪も継続して発生している状況である。

・コロナ渦に伴う、NZの厳しい入国管理措置が敷かれているため、現在、日本人旅行者等がないため、大きな事件・事故等の報告は受けていないものの、このような事件・事故は身近に起きているので、十分、気をつけて欲しい。

(3) ゴルゴ13の中堅・中小企業向け海外安全対策マニュアルの増補版の発行

・本年3月にゴルゴ13の中堅・中小企業向け海外安全対策マニュアルの増補版が発行された。

・今回のマニュアルには、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行下においてもテロのリスクは軽減しておらず、感染症とテロという複合的なリスクに適切に対処する必要性があることを伝えるため、新たなエピソードと解説が加えられている。

・なお、本マニュアルは、2016年にダッカ（バングラデシュ）で起きた襲撃事件（日本人7名を含む計22名が、市内のレストランにおいてイスラム過激主義の武装集団による襲撃を受け死亡した事件）を受け、「ゴルゴ13」を利用し、2017年に安全対策マニュアルを作成した経緯がある。

・こちらのコンテンツは、総領事館のHP上でも公開しており、動画もあるので、当館HPの以下のバナーをクリックすることで閲覧が可能である。是非、安全対策を考える上で、参考にして欲しい。



(4) 在留届と「たびレジ」について

・ここに参加されている皆さまは、在留届についてはご登録を頂いていると思うが、もしお知り合いの方に未だ提出されていない方がいるようであれば、お声がけて頂きたい。

・また、昨今は、各国ともコロナ渦の入国管理措置により容易に海外旅行に行ける状況ではないものの、第三国に行く際には、是非、たびレジの登録を行って欲しい。

・登録は、当館HPの以下のバナーからオンラインで手続きが行えるようになっている。



3 出席者からのコメント

(1) 本15日、市内の高級ホテルで発砲事件があったように、最近、治安が悪くなっている印象がある。

(2) 最近、友人の息子が市内のBARで誕生日会を開催していた際に、路上で待ち合わせをしていたところひたたくり被害に遭い、怪我を負わされたという話を聞いたこともある。

(3) 過去、Shore Roadと言う一つの通りで4件の殺人事件が起こっており、NZは治安が良いと思われがちであるが、実際にはそうではない。

(4) NZのライフルとショットガンの所持率は世界一である。

以上